



地震に備えて

地震はいつ起こるか分からない恐ろしい災害です。そのためいつ地震が起こってもいいように備えは必要となります。予め準備しておくことで、自分や家族を守りましょう。

家庭での防災会議

地震の時に家族が慌てず行動できるように、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。家族が離ればなれで被災したときを考えて、お互いの安否の確認手段を考えておくことも大切です。

備蓄品を備え、

非常持出品を準備する

地震が発生すると普段とおりの生活ができなくなる事も考えられます。数日間生活できるだけの『備蓄品』を備えておきましょう。目安として最低限3日間程度の水や食料品は備蓄しましょう。



家具の配置と固定

建物が無事でも、家具などが転倒すると、下敷きになってケガをしたり、避難経路を塞いだりしてしまいます。

▼家具などの転倒防止策（つつぱり棒やし字金具）

▼出入口・寝室では家具の配置に注意！

いざという時、避難の妨げにならないよう家具の配置や方向にも注意が必要です。また、寝室では背の低い家具を置くか家具の置き方を工夫し、寝ている方向へ倒れてこないよう配置しましょう。



火災対策と通電火災の防止

地震の後に発生する火災も大きな脅威となります。次のような対策を日頃から心がけましょう。

▼消火器を適切な場所に設置し、使い方を確認する

▼感震ブレーカーを設置し、電気火災を防ぐ

▼ガス漏れ警報器を設置する

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して自動的に電気を遮断するため、電気火災の予防に効果的です。



地域との連携で防災力を高める

大規模な災害時には、地域のつながりが重要になります。日頃から地域の防災訓練や防災イベントに参加し、顔の見える関係を作っておきましょう。ご近所との協力体制を築くことで、いざという時に助け合えるネットワークができます。

問合せ先 丹羽消防署 予防課

☎ 95-5158

— 普通救命講習会 —

日時 5月16日（土）

午前9時から正午

場所 丹羽消防署 扶桑出張所

申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署 ☎ 95-5151

大口出張所 ☎ 95-0119

非常時の持ち出し品リスト

いざというときのために日頃から備えを！

避難用具

- 懐中電灯 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん

救急・安全

- 救急箱 常備薬
- 処方箋の控え



水・食料

- 食料品（乾パン・缶詰など）
- 飲料水

貴重品

- 現金
- 預金通帳・印鑑
- 保険証

非常用持出袋に入れ
玄関など
持ち出しやすい
場所に置いて
おきましょう。

生活用品

- 厚手の手袋 毛布
- 缶切り タオル
- ライター、マッチ ナイフ
- 洗面用具 ティッシュ
- 下着・靴下 着替え 雨具
- モバイルバッテリー

感染症対策物品

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- ウエットティッシュ 体温計

引用元 総務省消防庁 非常品持出品チェックシート